

2015年10月2日～3日

全附P連PTA研修会 第6回全国大会

ハイアットリージェンシー東京にて開催された研修会に参加してきました。2日間に渡って開催される研修会に、日本全国の附属園校のPTAの方がたくさん参加していました。

こちらをご覧ください → [全附P連PTA研修会 第6回全国大会 号外](#)

オープニングセミナー

～附属パネルディスカッション～「魅力ある附属学校のために」

パネリストは文科省から1名、附属学校連盟理事長、全附連P連の現会長と前会長の4名で、キャスターで千葉大客員教授でもある木場弘子さんがコーディネーターとして場をまとめていました。国・教育行政、大学学部・学校、保護者・PTAというそれぞれの立場からの意見や、附属校の魅力や現状と抱える課題、今後の附属校に期待すること、全附連P連の役割などについて様々な議論が交わされました。

木場弘子さん



基調講演 講師：養老孟司氏

「生きる力、感じる心を育てよう」～養老流 子育て論～

若者よ、言葉や大人の価値観にとらわれなくて勇気をもって生きてほしい。そんなメッセージをいただきました。



言葉の価値観

戦後、私は子供だった。今まで使っていた自分の教科書を、自分の手で国家主義や戦意を鼓舞する内容の部分に墨を塗って修正するという体験をした。その時に言葉に対する価値観というものを強烈に意識した。今の社会は言葉が溢れすぎている。ルールや契約は言葉だらけで言葉に従わないと人間社会はおかしくなる。だが言葉に従うことで人間の質は低くなってしまふ。

「主体」という意識について

「主体」という意識は欧米文化を取り込むようになってからのもので、暗黙のうちに子供に植え付けている。大人も自分をしっかり持っていないのに、若者は「自分探し」といって悩むので気の毒だと思う。もともと日本人は仏教の考えの「無」が刷り込まれているので、「主体」という意識はなじまない。

勇気を持って！

今は勇気を教えている所はない。安心、安全ばかりで勇気を教えると無責任といわれる。「男の子なら想定した枠を飛び越える勇気を持って！」と言いたい。それが生きることである。

本講演 1 講師：辻井いつ子氏

「子どもの才能のを見つけ方、伸ばし方」～明るく、楽しく、あきらめない、「親ばか」子育てのススメ～



辻井いつ子さんは、奇跡の盲目ピアニスト 辻井伸行さんのお母様です。伸行さんは 2009 年にヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールに出場し、日本人として初の優勝を飾ったという快挙を成し遂げたことで、一躍世界的ピアニストの仲間入りを果たしました。小さいころから現在に至るまでの奮闘をいろいろなエピソードを交えて語ってくれました。辻井いつ子さんのモットーは子供の可能性を信じて、よく見てほめて、「明るく、楽しく、あきらめない」だそうです。子育てで大切なのは「たとえリスクがあっても様々な経験をさせる」、「感情で怒らない、いいことを見つけてほめてあげる」、「親だけは自分の味方だよと小さいころから刷り込むこと」だと語って下さいました。

本講演 2 講師：林 修氏

「大きな夢のために、今やる人になろう！」～考え、実行することの大切さ～



子育てにおいて大切なことは、「小さい頃からの環境づくりと安定した人間関係を結ぶこと」、「子供の能力を見極めて方向性を見出し、自分で考えて行動できる応用のきく子に育てること」、「今までの価値観にとらわれず 10 年後、20 年後の先を考えて準備すること」だとおしえてくれました。

小さい頃からの環境づくり

安定した人間関係を結ぶ基本は家庭であり母親。一定の時間に一定の料理が出てくるというのが安定する。勉強ができる子の共通項は家に本がいっぱいある。母親が本好きで、小さいころからそういうものに触れている。小さいうちからルールをしっかりと植えつけられている子は年収が全然ちがう。中学生～大学生は親のいうことはきかない。高校生は干渉し過ぎないこと。

子供の能力を見極めて方向性を見出す

この子にしかできないこと、何か 1 つでもこれは！というものを見つけてあげる。

自分で考えて行動できる応用のきく子に育てる

結果より方法が大事なので自分で考えてやっていることはほめてあげる。素直に先生などの言うことをきいて、やり方、点の取り方をおぼえて大学に入ってくる子が危ない。応用がきかない子になる。自分で考える力が豊かで、それで点が取れている子がよい。

今までの価値観にとらわれず、先を見越して準備

AI（人工知能）の研究者である英オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン准教授らが 2013 年に発表した論文が衝撃的で話題になった。タイトルは「雇用の未来—コンピューター化によって仕事は失われるのか」。人工知能の発展に伴いロボット開発などの技術革新が早い

★補足★

平成 26 年度に開催された第 5 回全附 P 連 P T A 研修会で以下の講演がありました。

【犯罪心理学から考える学校安全】

講師 東洋大学社会学部社会心理学科 教授（犯罪心理学）博士（学術） 桐生 正幸

→ [詳細はこちら](#)

その時の資料が公開されています。とても参考になると思うのでご紹介しておきます

→ [桐生正幸先生の資料はこちら](#)